

平成 26 年 6 月 5 日現在

機関番号：17501

研究種目：基盤研究(A)

研究期間：2010～2013

課題番号：22252007

研究課題名(和文) ASEAN諸国における市民性教育とアセアンネスのための教育に関する国際比較研究

研究課題名(英文) Comparative Study on Citizenship Education and Education for ASEANness in ASEAN Countries

研究代表者

平田 利文(HIRATA, Toshifumi)

大分大学・教育福祉科学部・教授

研究者番号：20173239

交付決定額(研究期間全体)：(直接経費) 26,300,000円、(間接経費) 7,890,000円

研究成果の概要(和文)：本研究では、第一に、アセアン10カ国における市民性教育の現状・課題・展望について、政策・計画・カリキュラムなどの文書分析、小・中・高の児童生徒への市民性に関する意識調査、及び学校長、市民性教育を担当する学校教員及び大学教員、市民性教育関係の指導主事、PTA会長などの有識者を対象にしたデルファイ調査(未来予測調査)により解明した。第二に、2015年までにアセアン共同体の創設のために構想されているアセアンネス(ASEANness)のための教育を明らかにした。そして第三に、アセアン各国に対し市民性教育モデルとアセアンネスのための教育モデルを提言した。

研究成果の概要(英文)：In this research, first, I elucidated the present situation, issues, and prospects of citizenship education in the 10 ASEAN countries by means of policy, planning, and curriculum analysis, together with a survey of awareness of students of primary school, junior high school, and high school concerning citizenship, and Delphi Survey (future forecasting survey method) to the experts on citizenship education: school teachers, university professors, educational supervisors, school directors, and PTA heads. Second, I elucidated education for "ASEANness," conceived as part of the creation of the ASEAN Community to be established by 2015. Third, I proposed citizenship education model for the ASEAN countries and a model of education for ASEANness.

研究分野：社会科学

科研費の分科・細目：教育社会学

キーワード：ASEAN諸国 市民性教育 アセアンネス 多国籍 国際研究者交流 デルファイ調査 質問紙調査 アセアン共同体

1. 研究開始当初の背景

(1)研究代表者は、平成14～16年度及び平成17～19年度の科研において(いずれも基盤研究B)、日本とタイの市民性教育に関する調査研究を行った。これらの研究では、「ローカル」「ナショナル」「グローバル」という座標軸を設定し、今後5年後に必要とされる市民性としての資質を予測した。これら一連の調査研究では、「リージョナル」なレベルの市民性教育の解明が課題であるとの指摘を受けた(日本教育学会編『教育学研究』第75巻第1号、2008年、pp.124-125)。本研究は、この課題に応えるために企画した研究である。

(2)2009年3月に開催されたアセアンサミットにおいて、2015年までにアセアン共同体を実現するための行動計画などを盛り込んだ「チャム・フアヒン宣言」が採択された。「経済」「政治・安全保障」「社会・文化」の3分野を柱に、欧州連合(EU)のような地域共同体の実現をめざしている。これらのうち、特に「社会・文化」分野では、Education for ASEANness が提唱され、アセアン共通の教育普及が検討されている。アセアン諸国における市民性教育を考える場合、共同体としてのアセアンネスのための教育の検討は避けて通れなかった。

(3)アセアンにおいては、各国が固有の市民性教育を構想していると考えられ、ローカル、ナショナルなレベルでは多様性がみられることが予想される。各国における市民性教育の現状と動向、課題、そして展望を比較研究し、「リージョナル」なレベルのアセアンにおける市民性教育の比較研究が必要である。他方、アセアン共同体としてのアセアンネスのための共通の教育をどのように構築しようとしているのか、これら両者のせめぎ合いをどのように調整しようとしているかを検討する必要があることから本研究を構想した。

2. 研究の目的

(1)アセアン10カ国における市民性教育の現状・課題・展望の解明

平成14～19年度の科研では、日本とタイの市民性教育にスポットを当て、ローカル、ナショナル、グローバルなレベルの研究調査を実施した。本研究では、リージョンとしてのアセアン諸国すべての加盟国(10カ国)において市民性教育に関する調査を行った。まず、市民性教育に関する政策・計画・カリキュラムを分析した。次いで小・中・高の児童生徒を対象に市民性教育に関する意識調査を実施した。既にタイと日本では意識調査を実施しているので、タイ以外のアセアン諸国においても同様の質問項目を用いて、各国の児童生徒の意識を比較研究した。との作業を通して市民性教育の現状と課題を

明らかにした。そして、有識者を対象にした未来予測調査(デルファイ調査)により、市民性教育の展望を明らかにした。デルファイ調査とは、有識者に同一のアンケート調査を繰り返し、回答者の意見を収れんさせ、5～10年後の未来を予測する調査方法である。アセアン諸国における市民性教育について未来予測することをねらいとした。

(2)アセアンネス(ASEANness)のための教育の解明

アセアンサミットに先立ち、2009年2月には第1回リージョナル教育セミナーが開催され、ASEANnessのための教育が提唱された。本会議は、アセアン各国共通の教育の構築に向け議論が続けられている。その議論をフォローし、この教育の全容を明らかにした。

(3)アセアン10カ国における市民性教育・アセアンネスのための教育に関する提言

アセアン10カ国における市民性教育の現状・動向、課題、展望、及びアセアンネスのための教育を比較研究することにより、市民性教育とアセアンネスのための教育に関する研究成果をアセアン諸国に対して提言することを目的とした。

3. 研究の方法

(1)文献・資料調査及びインタビュー調査

各国政府の市民性教育及びアセアンネスのための教育に関する教育計画や政策文書、カリキュラムを収集するとともに、教育行政機関及び大学等の市民性教育関係機関を訪問し、資料収集・インタビュー調査を実施した。また、あわせて、アセアン各国及び欧米における市民性教育に関する先行研究のレビューも行い、市民性教育研究の動向を把握し、データベース化した。

(2)小・中・高の児童生徒への質問紙調査及び学校調査

各国の学校現場において、資料収集、インタビュー調査、観察調査を行うとともに、小・中・高の児童生徒に対し、市民性教育に関する質問紙調査を実施した。

(3)デルファイ調査(未来予測調査)

児童生徒への質問紙調査をふまえ、学校長、社会科担当の指導主事、市民性教育担当教員、市民性教育を専門とする大学教員、PTA会長などの有識者を対象にデルファイ調査を実施し、市民性教育の未来予測を行った。

4. 研究成果

(1)市民性教育に関する政策・計画、カリキュラムの分析：現状と課題

各国の政策文書やカリキュラム分析などから、アセアン諸国では、国内における民族問題や社会階層格差が民主化問題と深い関係を持ち、そのことが市民性教育に影響を

及ぼしていること、シティズンが「国民」であったり、「市民」であったりということに、多様なシティズンシップが存在していること、政策やカリキュラムにおけるシティズンシップ教育が多様であること、アセアンとしての共通の資質として何をどのように合意していくか、2015年の統合後、アセアンネスのための教育をどう構築していくかが課題であることが明らかとなった。

(2) 児童生徒への市民性教育に関する意識調査

シンガポールを除く9カ国において意識調査を実施することができた。シンガポールでは、現在、教育省は国内での教育調査を厳しく規制しているため、現地共同研究者と学校調査の可能性を模索したが、調査許可を得ることができなかった。

調査結果としては、まず、アセアン全体として、価値観・態度面では宗教に熱心で国民道徳・国民としての誇りを身につけており、知識・理解の面ではある程度の達成が認められるものの、能力・技能面では課題が多いことがわかった。また、アセアン諸国に関する知識とアセアン市民としての共通意識(アセアンネス)の形成に共通の課題が見られた。当然のことながら、国によって回答傾向は多様であったが、その要因や背景は様々考えられる。その要因等に関しては、各担当者によるさらなる調査研究が必要である。

(3) 有識者に対するデルファイ調査

有識者対象の調査については、シンガポールとミャンマーを除く8カ国において実施することができた。ミャンマーでの調査は政情不安の理由から調査許可を得ることができなかった。

主な調査結果としては、アセアン各国はそれぞれ固有の市民性教育を準備しているということであった。各国の有識者が主張する市民性の資質は、国ごとに多様であることが明らかとなった。

他方、各国共通してみられた点としては、多くの国において、アセアンとしての共通課題についての関心があまり高くなく、アセアンとしての市民性に関する共通課題について、アセアン各国がもっと関心を持つようにすべきであることが明らかとなった。

(4) 市民性教育に関する提言

日本人側担当者と同国研究者の共同研究からの提言として、教員を養成する段階で教授法を改善し意識改革が必要なこと、アクティブな市民性教育が必要なこと、アセアン各国の学校現場の教員は、市民性教育に関する知識や経験を相互に情報交換することが必要であること、アセアン諸国共通のアセアンネスは存在し得るのか、あるいは各国ごとにアセアンネスを決定することになるのか、さらに各国はアセアンネスについ

てアセアンが統合しても模索していかねばならないということ、アセアン共通の市民性教育カリキュラムを開発することが必要であること、が明らかになった。

5. 主な発表論文等

(研究代表者、研究分担者及び連携研究者には下線)

[雑誌論文](計22件)

平田利文, 地域統合をめざすASEAN諸国における市民性教育, 比較教育学研究, 査読有, 2013, 104-117

平田利文, タイの大学における教養教育, 大学史研究, 査読有, 25巻, 2013, 65-82

Masahiro Teshima, Kumaraguru Ramaya, The Present and Anticipated Characteristics concerning ASEAN Citizenship as Perceived by Malaysian Educators, 教育研究ジャーナル, 査読無, 6巻2号, 2013, 19-20

森下稔, 民主主義の定着過程における市民性教育 - モルディブの児童生徒の現状から - 九州教育学会研究紀要, 査読有, 40巻, 2013, 105-112

羽谷沙織, カンボジアのダークツーリズムに関する一考察 - 観光資源として「虐殺」はどのように表象されているか - 立命館大学人文科学研究所紀要, 査読無, 2013, 37-67

手嶋將博, 地域統合をめざすASEAN諸国における市民性教育 - 「ナショナル」を超える市民性教育に向けたマレーシアの挑戦 - , 比較教育学研究, 査読有, 2013, 134-148

手嶋將博, マレーシアの児童・生徒へのアンケート調査に見る「ナショナル」を超えた市民性と「ASEAN市民」意識の涵養, 文教大学教育研究ジャーナル, 査読無, 5巻2号, 2013, 19-20

森下稔, ASEAN諸国における市民性に関する児童生徒へのアンケート調査, 比較教育学研究, 査読有, 2013, 118-133

鴨川明子, ブルネイ初等学校の市民性教育SPNカリキュラムにおける社会科とMIBの教科書分析, 比較教育学研究, 査読有, 2013, 149-163

中田有紀, 受け継がれるイスラム教育, インドネシア・ニュースレター, 査読無, 第80巻, 2012, 16-22

羽谷沙織, カンボジア前期中等教育における市民性を育む教育 - 国家への帰属意識とASEANをめぐるパラドックス - , 比較教育学研究, 査読有, 2012, 164-179

長濱博文, グローバル化する社会に求められる価値理念の構造 - 国民性・市民性に関するフィリピンとオーストラリアの比較考察, グローバル教育, 査読有, No.14, 2012, 50-66

A. Minei, S. Kampeeraparb, Y. Taguchi, and K. Suzuki, Comparative Case Studies of Citizenship Education in Fourteen Countries: Neo-National Education, Intercultural, Society and Education, 査

読有, 2010, 3-17

鈴木康郎, カンピラパーブ スネート, 高等教育のマス化と ASEAN 統合に向けた国際的地位の向上を目指して: タイの高等教育戦略, カレッジマネジメント, No.164, 査読無, 2010, 56-59

〔学会発表〕(計 37 件)

森下稔, 平田利文, タイの基礎教育カリキュラム改革における ASEAN 学習の現状と課題, 九州教育学会 65 回大会, 佐賀大学(佐賀県佐賀市), 2013 年 11 月 23 日 ~ 24 日

Toshifumi Hirata, Hirofumi Nagahama, Citizenship Education in ASEAN Countries, World Council of Comparative Education 第 15 回大会, プエノスアイレス大学(アルゼンチン・プエノスアイレス市), 2013 年 7 月 24 ~ 28 日

手嶋將博, ベトナムにおける ASEANness 教育の現状と課題, 日本教育制度学会第 21 回大会, 筑波大学(茨城県つくば市), 2013 年 11 月 16 日 ~ 17 日

Minoru Morishita, Chantana Chanbanchong, Sunate Kampeeraparb, Koro Suzuki, Toshifumi Hirata, The Results of Introduction of National Test in Basic Education in Thailand, World Council of Comparative Education Societies 第 15 回大会, プエノスアイレス大学(アルゼンチン・プエノスアイレス市), 2013 年 7 月 24 日 ~ 28 日

森下稔, 鈴木康郎, タイの基礎教育における新カリキュラムの導入 - 改革の特色と背景の探究 -, 日本比較教育学会第 49 回大会, 上智大学(東京都千代田区), 2013 年 7 月 5 日 ~ 7 日

鴨川明子, 中田有紀, 乾美紀, 教科書に見る市民性教育にみる市民性教育 - ブルネイ・インドネシア・ラオスの比較より -, 日本比較教育学会第 49 回大会, 上智大学(東京都千代田区), 2013 年 7 月 5 日 ~ 7 日

羽谷沙織, カンボジア前期中等教育にみる二つの市民像, 日本比較教育学会第 49 回大会, 上智大学(東京都千代田区), 2013 年 7 月 5 日 ~ 7 日

羽谷沙織, 現代カンボジア中学校「道徳公民」「歴史」「地理」の教科書分析, 日本社会科教育学会第 63 回大会, 上智大学(東京都千代田区), 2013 年 10 月 27 日 ~ 28 日

石村雅雄, ベトナムにおける ASEANness 教育をめぐる課題, 日本比較教育学会第 49 回大会, 上智大学(東京都千代田区), 2013 年 7 月 5 日 ~ 7 日

石村雅雄, ベトナムにおける ASEANness 教育の現状と課題(その 1), 日本教育制度学会第 19 回大会, 玉川大学(東京都町田市), 2011 年 11 月 19 日 ~ 20 日

森下稔, Outline and Outlook of Comparative Education in Japan: from the view point of area studies approach,

World Congress of Comparative Education Societies 14th Congress, ボアジチ大学(トルコ・イスタンブール市), 2010 年 6 月 16 日 ~ 18 日

森下稔, カンピラパーブ スネート, 鈴木康郎, Chantana Chanbanchong, A Study on School Based Curriculum Development in Basic Education Reform in Thailand, Comparaative Education Society of Asia the 7th Biennial Conference, 光州教育大学(韓国光州市), 2010 年 11 月 13 ~ 14 日

平田利文, 森下稔, ASEAN 諸国におけるアセアンネスのための教育に関する国際比較研究 - シティズンシップ教育の観点からみた展望と課題, 九州大学(福岡県福岡市), 2010 年 12 月 11 ~ 12 日

〔図書〕(計 23 件)

長濱博文, 九州大学出版, フィリピンの価値教育 グローバル社会に対応する全人・統合アプローチ, 2014, 全 301

平田利文, 学事出版, グローバル化時代を生き抜く人材の育成学校 - タイ(二宮皓編『新版 世界の学校』), 2014, 204-213(全 231)

池田充裕, 学事出版, 強靱な学力を鍛え上げる学校 - シンガポール, (二宮皓編『新版 世界の学校』), 2014, 142-151(全 231)

鴨川明子, 学事出版, イスラムの教えを映す成長著しい国の学校 - マレーシア・ブルネイ(二宮皓編『新版 世界の学校』), 2014, 160-171(全 231)

山田肖子, 森下稔, 東信堂, 比較教育学の地平を拓く, 2013, 全 442

平田利文, 東信堂, 市民性教育(タイにおける)(日本比較教育学会編『比較教育学事典』), 2012, 200(全 424)

平田利文, 東信堂, タイにおけるシティズンシップ教育(望田研吾編『21 世紀の教育改革と教育交流』), 2010, 185-199(全 294)

森下稔, 東信堂, タイにおける 1999 年国家教育法による教育改革(望田研吾編『21 世紀の教育改革と教育交流』), 2010, 200-215(全 294)

〔産業財産権〕

出願状況(計 0 件)

名称:
発明者:
権利者:
種類:
番号:
出願年月日:
国内外の別:

取得状況(計 0 件)

名称:
発明者:
権利者:
種類:

番号：
取得年月日：
国内外の別：

〔その他〕
ホームページ等
<http://www.jsps-kaken.com>

6. 研究組織

(1)研究代表者
平田利文 (HIRATA, Toshifumi)
大分大学・教育福祉科学部・教授
研究者番号：20173239

(2)研究分担者
渋谷恵 (SHIBUYA, Megumi)
常葉大学・教育学部・教授
研究者番号 40312805

森下稔 (MORISHITA, Minoru)
東京海洋大学・海洋工学部・准教授
研究者番号：60300498

鈴木康郎 (SUZUKI, Koro)
高知県立大学・文化学部・准教授
研究者番号：10344847

石村雅雄 (ISHIMURA, Masao)
鳴門教育大学・大学院教育研究科・准教授
研究者番号：80193358

手嶋將博 (TESHIMA, Masahiro)
文教大学・教育学部・教授
研究者番号：9036736

長濱博文 (NAGAHAMA, Hirofumi)
九州女子大学・人間科学部・講師
研究者番号：00432831

カンピラパーブ スネート (KAMPEERAPARB, Sunate)
名古屋大学・大学院国際開発研究科・講師
研究者番号：90362219

池田充裕 (IKEDA, Mitsuhiro)
山梨県立大学・人間福祉学部・准教授
研究者番号：40342026

乾美紀 (INUI, Miki)
兵庫県立大学・環境人間学部・准教授
研究者番号：10379224

鴨川明子 (KAMOGAWA, Akiko)
山梨大学・大学院教育学研究科・准教授
研究者番号：40386545

中田有紀 (NAKATA, Yuki)
東洋大学・アジア文化研究所・客員研究員
研究者番号：30553771

羽谷沙織 (HAGAI, Saori)
立命館大学・国際教育推進機構・准教授
研究者番号：10576151

(3)連携研究者
竹熊尚夫 (TAKEKUMA, Hisao)
九州大学・人間・環境学研究科・准教授
研究者番号：10264003

市川誠 (ICHIKAWA, Makoto)
立教大学・文学部・准教授
研究者番号：60308088

服部美奈 (HATTORI, Mina)
名古屋大学・教育学部・教授
研究者番号：30298442

牧貴愛 (MAKI, Takayosi)
別府大学・文学部・講師
研究者番号：80610906

(4)研究協力者
牧野絵美 (MAKINO, Emi)
名古屋大学・国際教育交流センター・講師
研究者番号：00538225